

## 第 14 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和 3 年 3 月 22 日 (月)、3 月 25 日 (木)
方 法	WEB 会議 (持ち回り開催 (非公開))
出席者	委員) 今井委員、大槻委員、川本委員、根本委員、幸村委員 計 5 名 事務局) 安武公金管理課長、山村資金運用担当課長、赤岩課長代理、落合課長代理、有井主任、島寄主任 計 6 名
欠席者	なし
議 題	1. 令和 3 年度公金管理計画について (案) 2. その他
要 旨	<p>(1) 議題 1 「令和 3 年度公金管理計画について (案)」</p> <p>事務局 計画策定に当たっての基本的考え方として「新型コロナウイルス感染症の影響や金融資本市場の変動の大きさなどが金融機関等の経営に与える影響に注視し、迅速かつ的確なリスク対応を行いながら、安全性を最重要視し、流動性を十分に確保した上で、柔軟かつ効率的に保管・運用していく」ことなどについて、またこれら考え方を踏まえた運用方法等の具体的対応方針について説明。</p> <p>委員 経済金融環境の認識と、それを踏まえた計画案については、適正なものとする。</p> <p>委員 長引くコロナ禍による経済活動の変動を幅広く捉え、その影響を的確に把握していくべき。</p> <p>事務局 先行きの不透明さについて十分留意し、日常的な監視も適時・適切に行いながら対応していく旨、回答。</p> <p>(2) 議題 2 「その他」</p> <p>事務局 新たな預入先候補とした金融機関について報告。</p> <p>委員 経営・財務の健全性などの観点から、預金先とすることに異論はない。</p> <p>委員 今後、新たに取引を始めるにあたっては、各金融機関の特徴にも着目し、経営評価・モニタリングしていくことが重要である。</p> <p>事務局 金融機関それぞれの経営環境なども踏まえたきめ細かな分析を行うとともに日常監視を徹底していく旨、回答。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>